

### ■コメント

#### 1 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

定点当たり8.06人の報告があり、増加が続いています。夏場は、エアコンの使用に伴い窓を閉め切ることが増えてきます。感染予防のため、こまめな換気を心がけましょう。

#### 2 ヘルパンギーナ

定点当たり3.75人の報告があり、増加が続いています。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

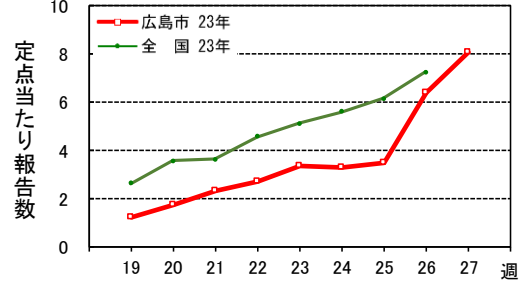
#### 3 RSウイルス感染症

定点当たり2.38人の報告がありました。減少傾向ですが、多い状況です。生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、咳等の呼吸器症状がある人との接触を避けるなどの注意が必要です。

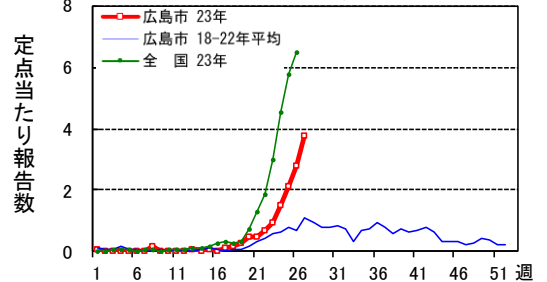
#### 4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり2.29人の報告がありました。減少傾向ですが、多い状況です。感染予防には、患者との濃厚な接触を避けることや、手洗いなどが有効です。

新型コロナウイルス感染症の流行状況



ヘルパンギーナの流行状況



### ■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	増減状況			
												前週と比較しておおむね	増減率		
インフル	インフルエンザ	26	0.72	0.01	↘	小児科	ヘルパンギーナ	90	3.75	1.09	↗	急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	290	8.06	0.01	↗		流行性耳下腺炎	-	-	0.11	↘	増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
小児科	RSウイルス感染症	57	2.38	1.55	↘	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	↘	微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	咽頭結膜熱	9	0.38	0.60	↘		流行性角結膜炎	2	0.25	0.63	↘	横ばい	↔	ほとんど増減なし	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55	2.29	1.29	↘	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	↘	報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。	インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)		36
	感染性胃腸炎	110	4.58	4.02	↗		無菌性髄膜炎	1	0.14	-	↘		小児科定点数		24
	水痘	5	0.21	0.19	↘		マイコプラズマ肺炎	-	-	-	↘		眼科定点数		8
	手足口病	18	0.75	3.90	↗		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	↘		基幹定点数		7
	伝染性紅斑	-	-	0.08	↘		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	↘		(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)		
	突発性発しん	3	0.13	0.34	↘										

### ■全数把握感染症報告状況

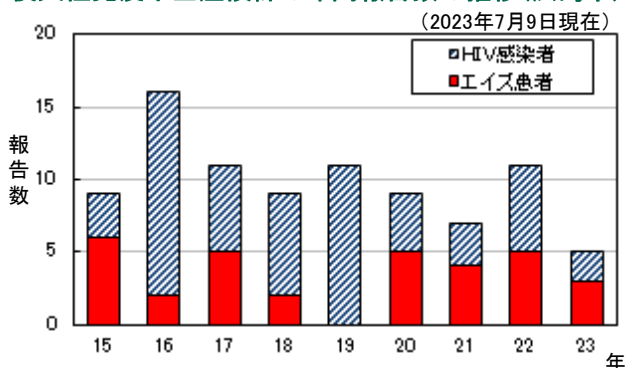
類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	6	70歳代
5	急性脳炎	1	3	10歳未満
5	後天性免疫不全症候群	1	5	40歳代・感染者
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	10	10歳未満
5	梅毒	9	144	10歳代・1人、20歳代・1人、30歳代・1人、40歳代・1人、50歳代・4人、70歳代・1人

## ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告数	第23週	第24週	第25週	第26週	第27週	インフルエンザ	(COVID-19)	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
							74	121	89	12	88	139	10	7	-	6	23	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-
広島市	第23週	69	119	84	9	91	119	3	9	-	7	36	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	第24週	44	125	55	9	85	113	2	17	-	3	51	1	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	第25週	34	231	71	5	74	116	2	17	-	6	67	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	第26週	26	290	57	9	55	110	5	18	-	3	90	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	第27週	2.06	3.36	3.71	0.50	3.67	5.79	0.42	0.29	-	0.25	0.96	0.08	-	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島市	第23週	1.92	3.31	3.50	0.38	3.79	4.96	0.13	0.38	-	0.29	1.50	0.08	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	第24週	1.22	3.47	2.29	0.38	3.54	4.71	0.08	0.71	-	0.13	2.13	0.04	-	0.88	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	第25週	0.94	6.42	2.96	0.21	3.08	4.83	0.08	0.71	-	0.25	2.79	0.08	-	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	第26週	0.72	8.06	2.38	0.38	2.29	4.58	0.21	0.75	-	0.13	3.75	-	-	0.25	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全国	第25週	1.20	6.14	3.17	0.61	1.63	4.99	0.13	0.89	0.03	0.31	5.79	0.09	0.01	0.37	0.02	0.03	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	
	第26週	1.26	7.24	3.17	0.57	1.60	4.65	0.10	0.92	0.03	0.30	6.48	0.06	0.01	0.38	0.01	0.03	0.05	0.01	-	-	-	-	-	-	-	

## 【参考】広島市における後天性免疫不全症候群(AIDS)の発生動向について

### 後天性免疫不全症候群の年間報告数の推移(広島市)



今年の累計は5件となりました。内訳は、エイズを発症する前に感染が判明した人(HIV感染者)が2人に対し、エイズを発症してから判明した人(エイズ患者)が3人となっています。

後天性免疫不全症候群は、感染後数年から10年程度、症状がない状態が続きますので、その間、検査を受けなければ、自分が感染していることに気づきません。

近年、医療が飛躍的に進歩し、早期に治療を開始すれば、長期間エイズの発症を防ぎ、通常の生活を送ることができるようになっていきます。

感染を早期に発見し、適切な治療を受けるため、そして大切な人に感染させないためにも、感染の可能性のある方や不安をお持ちの方は、検査を受けましょう。

広島市では、各区保健センターで、「HIV/エイズに関する相談と無料・匿名検査」を実施しています。

詳しくはこちらをご覧ください↓

HIV/エイズに関する相談と無料・匿名検査(広島市)

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/108883.html>



### 新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の相談窓口

発熱時等の受診相談「受診案内・相談ダイヤル」

TEL 082-241-4566

(24時間対応)

療養者からの相談「療養者相談ダイヤル」

TEL 0570-000-510

(健康相談 24時間、一般相談 8:30~18:00)

「新型コロナウイルス感染症に関する情報」(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail [ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp](mailto:ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp)